

◇2009社会人野球ベストナイン◇

投手	筑川 利希也 (Honda)	初	都市対抗を制した筑川、諏訪部 (Honda) と日本選手権でチームを初優勝に導いた浜野 (JR九州) の三つどもえの争いとなった。成績面では3人とも文句のつけようのない内容だったが、最後は都市対抗で橋戸賞を獲得した筑川に軍配が上がった。
捕手	佐伯 亮 (Honda)	初	最も選考が難航した。都市対抗と日本選手権で優秀選手に輝いた佐伯 (Honda) と浜野、米藤というタイプの違う2投手を巧みにリードした中野 (JR九州) の一騎打ち。最後は異例の多数決までもつれ込んだ結果、わずかに佐伯票が上回った。
一塁手	田城 智博 (三菱重工横浜)	初	西郷 (Honda) と田城 (三菱重工横浜) の僅差の争いとなったが、最後はスポニチ大会、都市対抗、日本選手権と各大会で本塁打を放った田城の長打力を買う声为上回った。西郷は史上最多となる7度目の受賞を惜しくも逃した。
二塁手	佐野 比呂人 (トヨタ自動車)	2年ぶり 2回目	都市対抗で久慈賞を獲得しただけでなく、年間を通じて高い打率を残した佐野 (トヨタ自動車) がすんなりと2度目の受賞を果たした。皇太子さまが観戦された都市対抗のホンダ鈴鹿戦でサヨナラ本塁打を放った佐藤 (ヤマハ) が次点。
三塁手	多幡 雄一 (Honda)	初	5年目の多幡 (Honda) が初受賞。スポニチ大会、都市対抗で優秀選手に輝いたほか、3番長野、4番西郷の後を打つ5番打者として各大会でコンスタントに打点を挙げた点も高く評価された。
遊撃手	川戸 洋平 (Honda)	初	村尾 (日立製作所)、川戸 (Honda)、藤原 (東芝)、佐々木 (三菱重工横浜) の4選手からまずは川戸と佐々木の2選手に絞られた。両者とも互角の成績ながら、最後は川戸の打力を推す声で、W杯日本代表の佐々木を上回った。
外野手	長野 久義 (Honda)	2年ぶり 2回目	まずは都市対抗で首位打者賞、日本選手権で打撃賞を獲得した長野 (Honda) が満場一致で選出された。続いて今季好調だった小手川 (Honda) も順当に選出。3人目は吉田 (日産自動車) と荻野 (トヨタ自動車) の争いとなったが、日本選手権で優秀選手賞に加え首位打者も獲得した吉田が滑り込んだ。
外野手	小手川 喜常 (Honda)	初	
外野手	吉田 承太 (日産自動車)	初	
指名打者	渡部 英紀 (三菱重工横浜)	初	渡部 (三菱重工横浜) と岡野 (Honda) の2人の争い。ともに都市対抗では高打率を残したが、スポニチ大会と日本選手権で優秀選手賞に輝くなど春から秋まで年間を通じて数字を残した渡部が岡野を振り切った。